

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名 三輪 (MIWA) 町家モデル事業

2. 事業実施期間

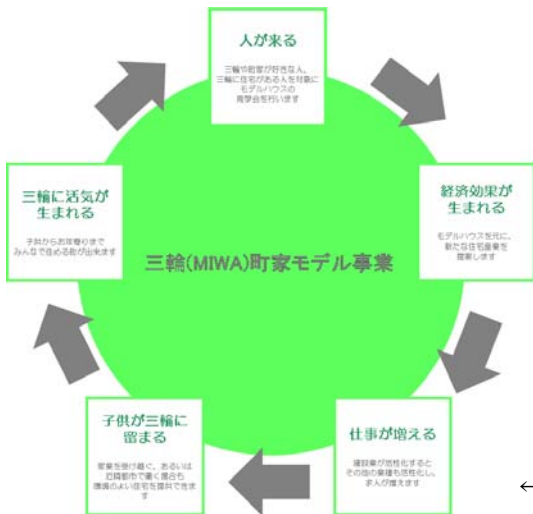
平成22年6月11日 ～ 平成23年2月28日

3. 事業主体 NPO法人 三輪座

4. 事業の成果

○新規性について

町家に着目し、**まちづくり (=※仕事連環)** を視点に取り組めたことにより、周辺住民の来訪者が多く、早速相談物件が出始めている。結果、**顔が見える家づくりによる効果 (近隣住民の多くの来訪者が多かった)** があった。



←「※仕事連環」概略図 ↑パンフレットより

○技術革新性について

隣地間における**狭隘スペースでの無足場工法**を可能としたことで町並保存修景の手法を示せた。



○事業によって得られた効果

NPO法人がまちづくりの視点で取り組んだ地域アイデンティティー住宅は、地域住民だけでなく、マスコミにも関心を持っていただくことができ、PR効果があった。

読売新聞(奈良版)

23年1月31日掲載→

多彩手づくり雑貨 桜井で市、にぎわう



県内外の工芸作家や工房23グループの作品を集めた「第3回みわの目手づくり雑貨市」が30日、桜井市三輪の「三輪中町ギャラリー」で開かれた。会場では、伝統的な工法で作られた焼き物や子ども向けの木製おもちゃ、布小物など様々な作品が並び、家族連れの人気が集めていた。

ギャラリーを運営するNPO法人「三輪座」が、地域興しなどのため昨年8月から「みわの目」を開催。「工房火々」(奈良市)は、赤土に白化粧土を混ぜた「粉引き」という朝鮮半島由来の技法を使ったティ

ーカップなどを紹介。森林な風合いが目を引いて、井井製菓の主婦、岩本貴美さん(40)は「かわいしい作品ばかりで、手作りの良さが感じられた」と笑顔を見せた。

また、「木の丁厚くぬき」を出品。親子で訪れた桜井市製菓の主婦、岩本貴美さん(40)は「かわいしい作品ばかりで、手作りの良さが感じられた」と笑顔を見せた。

また、「木の丁厚くぬき」を出品。親子で訪れた桜井市製菓の主婦、岩本貴美さん(40)は「かわいしい作品ばかりで、手作りの良さが感じられた」と笑顔を見せた。

若夫婦向け三輪町家 見学会 吉野杉・エコ技術も

町家の特性や外観を生かしながら、最新のエコ技術や地元産の素材を採り入れた新しい形のモデル住宅「三輪町家」が、桜井市三輪に完成した。コセプトは「親元へ帰った若夫婦が同じ敷地に建てられる家」で、5、6日に完成見学会を開く。

古く街並みが残る三輪地区は「まちづくり」の活動をしてい

吉野杉 あったか町家



一級建築士や材木業者、ペン職人らでつくるNPO法人「三輪座」が、吉野杉を使い、町家の外観を取り入れたモデル住宅を、桜井市三輪にオープンした。設計が、木材の調湿効果でメンパの知恵と技術を集めた住宅で、同NPO理事長「一級建築士の中尾七雄さん」は「家を建てることの新しい選択肢としてほしい」と話している。

桜井 NPOがモデル住宅



本造り建てで約80平方メートル、二階建ての住宅を、地域を活性化しようと企画採用した外観は、古い町家の輪郭に合わせたデザインで、1階は白壁と大きな窓を設けた居間、2階は子ども部屋などに活用できる。住宅の趣は、木質の暖かみがある。強度の高い吉野杉のやじり、湿度調整や脱臭機能に優れた漆喰が、木のぬくもりと魅力をPRしている。

完成したモデル住宅「せせめがし」(三輪中町) (桜井市) 0744-49381

昔の知恵と新技術結集

選んだ材料を使用し、中尾さんは「町家の奥深くで暗いイメージを払拭した住宅は、メンパの思いが詰まっている。ぜひ訪れてほしい」と話している。

開園時間は水曜日を除く午前10時、午後4時。見学などの問い合わせは同NPO(0744-49381)。

↑読売新聞(奈良版) 23年3月10日掲載

門前町に活気呼べ



「三輪は「田舎」なのが魅力。誰もがホッとできる雰囲気を残している」

川端規央さん(51) (桜井市) NPO法人「三輪座」理事長

「三輪は「田舎」なのが魅力。誰もがホッとできる雰囲気を残している」

↑朝日新聞(奈良版) 23年3月4日掲載

朝日新聞(奈良版) 23年2月27日掲載→

○目的の達成状況 (主要な実施方法、手段、今後の事業展開)

・ステップ① ; ワークショップの開催

町家に次世代が根付くためには、若者住民の声を聞く必要があった。そこで、ワークショップ手法を使い基本コンセプトをつくり上げた(別表1ーワークショップ結果シート参照) ことにより、次世代住民が求める住宅プランを作成することが出来た。



・ステップ②；構造見学会の開催

2010年12月12日 建設途中でしかみられない構造部分を公開することで、地元吉野の地域認証材の良さを体感していただくことが出来た。また、仕上げると隠蔽部となってしまう断熱材の施工状況を見ていただくことで、長期優良住宅の大切な要素をPRすることが出来た。

(別表2—構造見学会アンケート参照)



・ステップ③；プレイベント（完成前見学会）の開催

2011年1月30日 三輪座雑貨市イベントと同時開催。313名の来場者の内、約100名の来場者があった。結果、事業コンセプトに対し高い好評をいただいた。

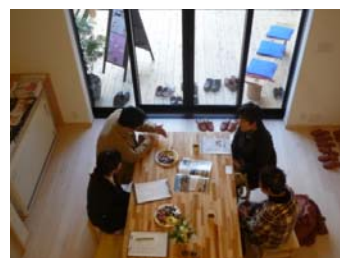
(別表3—完成前見学会アンケート参照)



・ステップ④；完成見学会の開催

2011年3月5日、6日 完成したモデルハウスを実際に見てその良さを体感していただくことで、三輪座に住宅相談をしたいという意見を多くいただくことが出来た。

(別表4—完成見学会アンケート参照)



・ステップ⑤；今後の展開 フロンティア事業に応募中⇒町家に新たな住宅市場を求め、新築とエコ・リフォームの販路拡大をはかる。そのために、NPO 法人三輪座の構成員が参画している大和町家バンクネットワークと連携し、全国発信する。

三輪座は「大和・町家バンクネットワーク」に参加しています。

奈良県内の空き町家情報を共有して、町家に住みたい人への紹介や活用方法の案内などを迅速に、かつ合理的に行えるようにした仕組みです。運営は奈良県といくつかのNPO法人などが協働で行っています。NPO法人三輪座は、三輪地区の空家調査・情報提供を把握し、大和・町家バンクネットワークと連携しています。

